

Distortion Analyzer Models 7600

- 分解能 0.001%
- 周波数応答 10Hz ~ 600kHz
- 高解像度カラーディスプレイ
- 絶縁・分離された入力端子
- IEEE-488、USB
- 歪測定値ほぼ100%



高性能

モデル7600歪分析器は市場の他の歪分析器とは一線を画しています。最先端のデジタル技術と最適な設計を施したアナログフロントエンドにより、モデル7600は現在市場に出回っているどの歪分析器よりも優れた性能を誇っています。しかも、この高性能を非常に低コストで実現しています。モデル7600は振幅と%歪の両方にとって適切なレンジを、波形に関わらず、自動的に選択します。ユーザーは歪測定のためにはたった一つの入力ケーブルを接続するだけです。入力信号が大き過ぎる、あるいは小さ過ぎる場合にはそれぞれ **Over-range** または **Under-range** が表示されます。

モデル7600は多くの古い歪分析器を置き換えます。

IEEE-488 と USB インターフェイスの標準装備

モデル7600には標準で IEEE-488 と USB インターフェイスが備わっているので、インターフェイス経由でディスプレイの表示を読み、入力フィルターと目的の入力周波数を必要に応じて選択できます。

強固な入力保護

ユニークな入力保護回路により、突然の高電圧入力による損傷の心配も無用です。入力電圧をゆっくりと上げる気遣いは不要です。

浮動入力

モデル7600の入力はシャーシグラウンドには接続されていません。その為にアースグラウンド接続の回路網で、共通モードで問題となるグラウンドループを発生することなく測定することが可能です。電位的に完全に分離されたフロントエンド経由による非常に効果の高い共通モードの問題を除去できます。

仕 様

基本周波数範囲	10 Hz ~ 600 kHz
歪測定範囲	0.1% ~ 100%
入力電圧範囲	0.3V ~ 200V
分解能	0.001%

歪精度

範囲	10 Hz ~ 600 kHz	30 Hz ~ 300 kHz
100% ~ 0.3%	フルスケールの±3%	—
0.1%	フルスケールの±6%	フルスケールの±3%

フルスケールの歪範囲は： 0.1%、0.3%、1%、3%、10%、30%、100%

電圧精度

範囲	±2%	±5%
0.3V ~ 30V	10 Hz ~ 1 MHz	1 MHz ~ 3 MHz
30V ~ 200V	10 Hz ~ 300 kHz	300 kHz ~ 500 kHz

計器の誘発歪	5 Hz ~ 200 kHz	-70 dB
	200 kHz ~ 600 kHz	-64 dB
基本波長に対する第二次高調波精度	10 Hz ~ 20 Hz	±1 dB
	20 Hz ~ 20 kHz	±0.6 dB
	20 kHz ~ 100 kHz	±1 dB
	100 kHz ~ 300 kHz	+1 dB、-2 dB
	300 kHz ~ 600 kHz	+1 dB、-3 dB
最大入力	200Vrms	
入力インピーダンス	>110 kΩ <70pF	
カップリング	AC	
周波数精度	0.1%	
残留ノイズ	25 μV	
350 Hz ハイパスフィルター	350 Hz ± 35 Hz 3次バターワース	60 dB/桁
80 kHz ローパスフィルター	80 kHz ± 8 kHz 3次バターワース	60 dB/桁

一般仕様

ディスプレイ	4.3 インチ 高解像度カラーTFT
デジタルインターフェイス	IEEE-488.2、USB
サイズ	約幅 17 インチ 高さ 3.5 インチ 奥行 13 インチ
温度範囲	稼働： 0°C ~ 40°C 仕様範囲： 23°C ± 5°C
湿度	仕様範囲： 20% ~ 50% RH 結露無し
保管環境	温度範囲： 0°C ~ 50°C 湿度範囲： 15% ~ 80% RH 結露無し
重さ	約 5.9kg
電源	100V、120V、220V、240Vrms 47Hz ~ 63Hz、30VA max.
保証	1年

日本総代理店 キーテクノ株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-14-6

電話： 03-3251-3161 Email: keytechno@pop14.odn.ne.jp